

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」小坂井校		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 14日 ～ 2025年 12月 20 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年 10月 14日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ブラジル人と日本人の職員が在籍しており、ブラジル人指導員によるポルトガル語の個別・集団支援、また日本人指導員による日本語の個別・集団支援を受けることができます。ブラジル人保護者への対応もブラジル人職員が母国語で行うことができます。	通園、就学予定の利用児童に対して日本語の語彙を増やし、言葉の意味の理解や読み書き（就学前の児童対象）などを支援内容に取り入れています。	
2	小集団支援では、職員間で利用児童一人ひとりの特性を理解し、支援計画の内容を踏まえた活動プログラムを考え、丁寧に支援しています。	利用児童が興味関心を持てるような活動プログラムを提供しています。指導員と一緒に楽しく活動に取り組み、自分でできることが増やせていけるよう支援しています。	
3	個別担当職員が不在の場合は、代理職員の支援を受けることで、支援を継続して行うことができます。	個別・集団支援の担当職員間で情報共有し、保護者様との信頼関係を構築できるよう心がけ、担当職員不在時にも代理支援に快く承諾をいただいています。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外国籍の保護者様との情報共有	言語の違い。 翻訳アプリを使用しても言葉の認識・解釈の違う文章に翻訳されてしまい、上手く伝えることができないことがあります。	ブラジル人指導員に翻訳アプリの翻訳で意味が通じるかどうかを確認してもらうよう努めています。
2	事業所の活動スペースや内装関係	平日の個別・集団支援を行う場合、個別支援のスペース確保が難しいことがあります。	パーティションなどを活用して個別対応できるスペースを設けるなど、必要に応じて配慮しています。個別支援中に周りの様子や音に意識が向かうことなく、集中して取り組めるよう活動プログラムを立案しています。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」小坂井校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 9

回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					法令を遵守してスペースを確保しています。 引き続き、契約時に文書を用いて説明を行います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1				法令で必要とされる配置数に加え、職員を1名以上配置しています。引き続き、契約時に文書を用いて説明を行います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8					建物の構造上不十分ですが、屋内には段差はありません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8					利用児童、保護者様が安心して利用いただけるよう療育室内の整理整頓、清掃・消毒など時間帯ごとに行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1				社内共通のアセスメントシートを使用して、アセスメントをもとに担当職員で話し合い、支援計画を作成しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1				支援プログラム公表しています。 毎回の支援ごとに活動プログラムを作成し支援を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					保護者様のご要望を取り入れ、集団支援・個別支援担当職員と話し合いを行い個別支援計画を作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					ガイドラインに沿って、一人ひとりに合わせた、具体的な支援内容を設定しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					個別支援計画に沿った支援を実施しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8					前日に職員間で話し合いを行い、日ごとに違うプログラムを取り入れています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7		1			地域交流の一環として、児童館などへ行き他の児童と交流できる機会を作っています。
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					引き続き、契約時に文書を用いて丁寧に説明を行います。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					新規・更新の際に支援計画の説明を行い、保護者様の同意を得てから支援開始(継続)しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6		1	1		保護者様の意向を確認し、必要に応じて実施しています。保護者様参加型イベントなどを開催し、情報収集・共有できる交流の場を設けています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7		1			送迎時や支援後に保護者様へ支援中の様子を伝えたり、SNSなどを使い様子を報告するなどして、共通理解に努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					対面での面談やSNSなどを使い、相談内容に合わせて必要な助言と支援を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					保護者様へ支援内容の報告を対面で行ったり、SNS等を使用し支援の様子を写真やプリントなどを提示・添付し細かくお伝えしています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	1	1		季節ごとにイベントを開催。保護者様同士の交流の場を設けています。不定期ですが兄弟・姉妹参加イベントも開催しています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8					引き続き、迅速かつ適切に対応していきます。周知が不十分な部分があるので、周知や説明に努めていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					視覚的な補助（掲示板・手紙）等をさらに活用していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8					引き続き、ブログや手紙・SNS等を通して、活動内容やスケジュール等を分かりやすく伝えていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	1	1			個人情報等は、鍵付きの書庫に保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1	1			各種マニュアルを作成し、訓練を実施しています。ご利用のタイミングによっては、周知が不十分な時があるため、周知・説明に努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7		1			毎月、避難訓練を実施しています。ご利用のタイミングによっては周知が不十分な時があるため、事前に周知・説明に努めていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8					安全計画を策定しています。契約時や事業所に掲示等により周知をしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8					事故等（怪我等を含む）発生した際は、速やかに保護者様にご連絡し事故が発生した際の状況等について説明を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8					これまで以上に安心して通所していただけるよう努めていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8					これまで以上に自分から「行きたい。」という気持ちをサポートできるように努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8					より良い支援内容となるよう、常に努力していきます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」小坂井校		2026年 2月 14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令上の適切な広さを確保しつつ、パーテーションなどを活用して必要に応じて配慮しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数に加え、職員を1名以上配置しています。	利用児童の特性や月齢によっては、利用児童1名に対して職員1名での支援が必要な時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚的にも理解ができるよう利用児童が動きやすいように配慮しています。建物の構造上不十分ですが屋内には段差はありません。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		時間帯毎に整理整頓、清掃・消毒を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋の使用が難しい場合は、パーテーションなどを活用し必要に応じて配慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		朝礼やミーティング時に予約・利用状況などを踏まえた話し合いの時間を設けています。参加出来なかった職員には、後日周知しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		不定期ですが職員一人ひとりと話す機会を作り、意見等を業務改善に繋げていけるよう努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、第三者評価は行っていません。	現在、第三者評価は行っていません。弊社の他事業所と共に第三者評価の導入を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に社内研修を受講しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを公表しています。別途、毎回の支援ごとに活動プログラムを作成しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		社内共通のアセスメントシートを使用して、アセスメントをもとに担当職員で話し合い支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリングや個別支援計画の原案をもとに個別新計画を作成するための会議を職員で行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に沿って活動プログラムを作成しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内共通のアセスメントシートを使用してアセスメントを行っています。支援ごとに記録にも気になる点等記載しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		社内共通の書式を用いてガイドラインに沿って、一人ひとりに合わせた具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で提案・話し合いを行い、アイデアを出し合い決定しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員間で提案し話し合いを行い、決定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼前後に職員間で打ち合わせと確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員間での情報共有を行っています。兼務・非常勤職員には、記録などで確認・周知しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録はできる限り支援を実施した日か次の営業日に記録するよう努めています。また、モニタリングに活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		計画に対するモニタリングは最低でも半年に一度、また児童の様子や保護者のご要望に合わせて随時行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当している職員か、児童の様子をまとめた資料を持参して対応しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援事業所や学校、保育園等と必要に応じて情報共有や連携を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		送迎時等には、利用児童の様子等の情報収集や共有をしています。保護者の相談内容に応じて、話し合いの場を設けています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者のご要望に応じて、情報共有やサービス担当者会議を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		児童発達支援センターと随時情報共有を行っています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	校外学習の一環で児童館など他の児童と交流できる機会を設けています。近隣の同法人の校舎合同行事を定期的に開催しています。	保護者の意向を確認し、必要に応じて実施を検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援終了後は、支援内容の報告を行ったり、SNS等で写真付きで様子等の報告をしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ママカフェや保護者参加型イベントなど開催し、保護者様同士の交流や情報収集・共有の場を設けています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に文章を用いて丁寧に説明を行っています。必要に応じてブラジル人職員により通訳対応を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別・集団支援の担当職員を含めた相談支援等の場を設けています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		新規・更新の際に計画の説明を行っています。同意を得てから支援を開始（継続）しています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		短い時間ですが、世間話を踏まえながら家庭内での様子や困りごとなどを伺い、必要に応じて助言や支援等を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ママカフェや保護者参加型イベントなど開催し、保護者同士の交流や情報収集・共有の場を設けています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		引き続き、迅速かつ適切に対応していきます。	周知が不十分な部分があるので、周知や説明に努めていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、ブログの更新を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報、鍵付きの書庫に保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		SNSや手紙などの文字情報や、絵などによる情報を用いて情報伝達等を行っています。	視覚的な補助(掲示板、手紙)等をさらに活用していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		保護者の意向を確認し、必要に応じて実施を検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、研修や訓練を行っています。	周知が不十分な部分があるので、周知や説明に努めていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を作成し、研修や訓練を行っています。	周知が不十分な部分があるので、周知や説明に努めていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		見学体験時や契約前の面談時に、健康状態などについてお伺いし対処方法等の確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			配慮のいる場合は、医師の指示書を提示していただくよう説明を行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定しています。安全管理に必要な研修や訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		引き続き、事業所出入口に掲示し、定期的に保護者へ周知していきます。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット作成後、職員へ周知し今後の再発防止について話し合いを行っています。非常勤職員については、後日周知しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する指針及びマニュアルを作成し、1年に1回以上研修を実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束に関する指針及びマニュアルを作成し、1年に1回以上研修を実施しています。	